

法人本部

1 令和7年度事業報告について

① 令和7年度法人本部事業報告書

令和7年度については、各種の大会、会議及び行事なども例年どおりの内容で実施されました。

当法人関係では、7年度に役員（2年任期）、評議員（4年任期）の改選が行われましたが、各種事業については、ほぼ昨年度どおり実施してまいりました。

以下、主要な事業の実施結果等について報告します。

1 理事会・評議員会の開催

(1) 第1回理事会（令和7年6月1日開催）

出席者：理事11名、監事2名

議 題：

＜決議事項＞

第1号議案 令和6年度事業報告について

法人本部及び各施設の事業報告について、原案どおり承認。

第2号議案 令和6年度収支決算（会計書類及び財産目録の承認）について

法人本部及び各施設の収支決算について、原案どおり承認。

第3号議案 役員候補者の選任について

定時評議員会に提案する役員候補者について、原案どおり承認。

第4号議案 評議員候補者の選任について

評議員選任・解任委員会に提案する評議員候補者について、原案どおり承認。

第5号議案 令和7年度定時評議員会の開催について

原案どおり承認。

第 6 号議案 第 2 回理事会（決議省略）の開催について

定時評議員会後に、会長等選定のための理事会（決議省略）開催について、原案どおり承認。

<報告事項>

- ① 監査報告
- ② 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

(2) 定時評議員会（令和 7 年 6 月 22 日開催）

出席者：評議員 12 名、監事 2 名、理事 6 名

議 題：

<決議事項>

第 1 号議案 令和 6 年度収支決算（会計書類及び財産目録の承認）について

法人本部及び各施設の収支決算について原案どおり承認。

<報告事項>

- ① 令和 6 年度事業報告
法人本部及び各施設から報告
- ② 監査報告
- ③ 評議員選任・解任委員会の開催結果報告
- ④ 第 2 回理事会（決議省略）開催予定報告
- ⑤ 理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告

(3) 第 2 回理事会（決議省略）（令和 7 年 6 月 22 日開催）

議 題：

<決議事項>

会長（理事長）、副会長、業務執行理事の選定について、原案どおり承認。

(4) 第 3 回理事会（令和 7 年 12 月 7 日開催）

出席者：理事 12 名、監事 2 名

議 題：

＜決議事項＞

第 1 号議案 諸規定の改正について

- ① 県立情報センター職員就業規則の一部改正
原案どおり承認。
- ② 愛命園非常勤職員等就業規則の一部改正（時間給）に
ついて
原案どおり承認。

第 2 号議案 令和 7 年度資金収支補正予算について

原案どおり承認。

第 3 号議案 第 2 回評議員会の開催について

原案どおり承認。

＜報告事項＞

- ① 第 6 期県立情報センター指定管理者指定申請報告
- ② 理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告

(5) 第 2 回評議員会（令和 7 年 1 2 月 2 1 日開催）

出席者：評議員 1 6 名、監事 1 名、理事 6 名

議 題：

＜決議事項＞

第 1 号議案 令和 7 年度資金収支補正予算について

原案どおり承認。

＜報告事項＞

- ① 諸規定の改正について、第 2 回理事会承認事項報告
- ② 第 6 期県立情報センター指定管理者指定申請報告
- ③ 理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告

(6) 第 4 回理事会（令和 8 年 3 月 8 日）

出席者：理事 1 0 名、監事 1 名

議 題：

＜決議事項＞

第 1 号議案 諸規程の一部改正について

- ① 職員の昇給に関する規則の制定
原案どおり承認。
- ② 法人本部、愛命園及び情報センター職員給与規程別表
の改正
原案どおり承認。
- ③ 団体会員会費の変更
原案どおり承認。

第 2 号議案 監事の補充選任について

監事の補充選任候補者について、原案どおり承認。

第 3 号議案 令和 8 年度事業計画について

法人本部及び各施設も事業計画について、原案どおり承認。

第 4 号議案 令和 8 年度資金収支当初予算について

法人本部及び各施設の当初予算について、原案どおり承認。

第 5 号議案 令和 7 年度第 3 回評議員会の開催について

原案どおり承認。

<報告事項>

- ① 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

(7) 第 3 回評議員会（令和 8 年 3 月 2 2 日開催）

出席者：評議員 1 3 名、理事 6 名、監事 1 名

議 題：

<決議事項>

第 1 号議案 監事の補充選任について

監事の補充選任について、原案どおり承認。

第 2 号議案 令和 8 年度事業計画について

法人本部及び各施設の事業計画を原案どおり承認。

第 3 号議案 令和 8 年度資金収支当初予算について

法人本部及び各施設の当初予算を原案どおり承認。

<報告事項>

- ① 諸規程の一部改正について

第4回理事会承認事項について報告

② 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

2 評議員選任・解任委員会

委員会運営規程第11条第2項の規定に基づき、令和7年6月5日付けで決議省略の方法により開催。第1回理事会で承認された評議員候補者19名について、令和7年6月20日付けで原案どおり選任を決議した。

3 大会・行事等

(1) 第53回中国ブロックグランドソフトボール大会兼第24回全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技中国地区予選会（広島県開催）

開催月日： 令和7年5月18日（日）

開催場所： 広島県立中央特別支援学校グランド

実施結果等： 山口県チームと広島県チームが参加し、試合の結果、広島県チームが中国ブロック代表となった。

(2) 第78回全国視覚障害者福祉大会（千葉大会）

開催日時： 令和7年5月25日（日）～5月26日（月）

開催場所： 千葉県千葉市

実施結果等： 橘高会長はじめ21名の役員・会員等が参加した。大会終了後、有志による1泊の東京都内研修旅行を実施した。

(3) 第24回全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技中国・四国ブロック代表決定戦（広島県開催）

開催月日： 令和7年6月8日（日）

開催場所： 広島県立中央特別支援学校グランド

実施結果等： 香川県チームと広島県チームが参加し、試

合の結果、香川県チームが中国・四国ブロック代表となった。

(4) 第71回全国視覚障害者女性大会（新潟大会）

開催日時：令和7年9月3日（水）～9月4日（木）

開催場所：新潟県新潟市

実施結果等：現地開催に、清水女性部長ほか参加

(5) 第73回日本視覚障害者団体連合中国ブロック視覚障害者福祉大会（山口県大会）

開催日時：令和7年9月13日（土）～14日（日）

開催場所：山口県下関市

実施結果等：下関市生涯学習プラザにおいて開催され、本県からは、橘高会長ほか役員会員等22名が参加。

(6) 第71回全国視覚障害者青年研修大会

開催日時：令和7年9月14日（日）～15日（月）

開催場所：愛知県豊橋市

実施結果等：現地開催に、細谷青年部長が参加した。

(7) 令和7年度中国ブロック三療研修会

開催日時：令和7年11月1日（土）～2日（日）

開催場所：島根県松江市

実施結果等：広島県から橘高会長及び藤原あはき部長が参加

3 社会参加推進事業

(1) 点字による即時情報ネットワーク事業

JB ニュースの発行

令和8年3月31日現在16部発行、1部10ページ

土、日、祝及び年末年始を除く毎日発行

日本視覚障害者団体連合から視覚障害者に関する情報や日々の国内外のニュースが、点字データと共に日々配信され、これを点字プリンターで打ち出し、購読者へ発送した。

(2) 身体障害者補助犬育成事業

令和7年度においては、10月9日に1頭を貸与。

府中市 高橋覚規 盲導犬ウリア
(島根あさひ訓練センター)

(3) 点訳・音訳奉仕員養成事業

①点訳奉仕員研修会

場 所：広島県立視覚障害者情報センター会議室

講 師：点字指導員

受講者： 3名

日 数：14日、延時間：28時間

(11/12～3/4 毎週水曜日 13時30分～15時30分)

内 容：

- ・視覚障害者の基礎的理解
- ・より良い点訳のための簡単な文法・読み方の調査など
- ・語の書き表し方4回 ・分かち書き5回
- ・記号類の使い方 ・書き方の形式

②音訳奉仕員研修会

場 所：広島県立視覚障害者情報センター会議室

講 師：音訳指導員

受講者： 5名

日 数：14日、延時間：28時間

(11/12～3/4 毎週水曜日 10時～12時)

内 容：

- ・視覚障害者の基礎的理解
- ・音訳の基礎

- ・ 視覚障害者の情報環境
- ・ 音声表現技術の基礎 2 回
- ・ 情報を正しく伝える読み方 3 回
- ・ 処理技術の基礎 2 回
- ・ 演習 2 回
- ・ 調査技術
- ・ 校正の基本（校正技術）

4 本部助成事業

(1) グランドソフトボール選手派遣事業

第 5 3 回中国ブロックグランドソフトボール大会（広島大会）の参加を支援。

(2) 女性部事業

① 第 1 回日視連女性部常任委員会

開催月日：令和 7 年 4 月 5 日（土）

出席者：清水幸枝

開催方式：電話会議

② 定期総会・第 1 回社会参加促進事業

開催月日：令和 7 年 4 月 2 0 日（日）

場 所：福山市すこやかセンター

内 容：スカーフを使ってみましょう

参加者：2 5 名（三原 2、府中 2、福山 13、呉 8）

③ 第 2 回日視連女性部常任委員会

開催月日：令和 7 年 5 月 1 0 日（土）

開催方式：電話会議

出席者：清水幸枝

④ 県視連第 1 回理事会

開催日時：令和 7 年 6 月 1 日（日）1 3 時～1 5 時

場 所：広島県立視覚障害者情報センター

出席者：清水幸枝

⑤第3回日視連女性部常任委員会

開催日時：令和7年6月18日(日)9時30分～15時

場 所：日本盲人福祉センター

出席者：清水幸枝

⑥県視連定時評議員会

開催日時：令和7年6月22日(日)13時～15時

場 所：広島県立視覚障害者情報センター

出席者：岡田恵美子、中村悦子

⑦県視連第2回理事会

決議月日：令和7年6月22日(日)

開催方式：決議省略

出席者：清水幸枝

⑧第4回日視連女性部常任委員会

開催月日：令和7年9月3日(水)

場 所：新潟県新潟市

出席者：清水幸枝

⑨第1回日視連女性部全国委員会

開催月日：令和7年9月3日(水)

場 所：新潟県新潟市

出席者：清水幸枝、岡田恵美子

⑩第71回全国視覚障害者女性研修大会

開催月日：令和7年9月3日(水)～4日(木)

場 所：新潟県新潟市

内 容：提出議題「スローレジ及び有人レジの確保」

レポート「視覚障害者あるある」

講演「がんによって得た事由」

講師 新潟医療福祉大学教授 五十嵐紀子

出席者：清水幸枝、岡田恵美子

⑪第73回日視連中国ブロック視覚障害者福祉大会

開催月日：令和7年9月13日(土)～14日(日)

場 所：山口県下関市

出席者：清水幸枝、岡田恵美子他 3 名

⑫第 2 回社会参加促進事業

開催月日：令和 7 年 1 1 月 1 6 日（日）

場 所：福山市市民参画センター

内 容：福山市視障協音楽クラブ（大正琴、ハーモニカ、打楽器、オカリナ）発表

脳から身体を整える椅子に座っての運動

講師 元プロレスラー吉田万理子氏

参加者：21 名（三原 2、府中 7、福山 10、呉 2）

⑬日視連女性部陳情行動

開催日時：令和 7 年 1 1 月 1 7 日（月） 1 5 時

場 所：参議院議員会館 石田昌宏議員

参加者：清水幸枝

⑭県視連第 3 回理事会

開催日時：令和 7 年 1 2 月 7 日（日） 1 3 時～ 1 5 時

場 所：広島県立視覚障害者情報センター

出席者：清水幸枝

⑮県視連第 2 回評議員会

開催日時：令和 7 年 1 2 月 2 1 日（日） 1 3 時～ 1 5 時

場 所：広島県立視覚障害者情報センター

出席者：岡田恵美子、中村悦子

⑯日視連中国ブロック会長部長会議

開催日時：令和 8 年 2 月 1 日（日） 1 3 時～ 1 5 時 1 5 分

場 所：山口県下関市

出席者：清水幸枝

⑰第 7 回日視連女性部常任委員会

開催月日：令和 8 年 3 月 7 日（土）

出席者：清水幸枝

開催方式：電話会議

⑱県視連第 4 回理事会

開催日時：令和8年3月7日(日)13時～15時

場 所：広島県立視覚障害者情報センター

出席者：清水幸枝

⑱第8回日視連女性部常任委員会

開催月日：令和8年3月14日(土)

出席者：清水幸枝

開催方式：電話会議

⑳第2回日視連女性部全国委員会

開催月日：令和8年3月14日(土)

出席者：清水幸枝

開催方式：電話会議

㉑県視連第3回評議員会

開催日時：令和8年3月22日(日)13時～15時

場 所：広島県立視覚障害者情報センター

出席者：岡田恵美子、中村悦子

その他：広報紙「あかね」回覧 年2回

研修会レポート回覧 年1回

(3) 青年部事業

①県視連定時評議員会

開催日時：令和7年6月22日(日)13時～15時

場 所：広島県立視覚障害者情報センター

出席者：細谷成二、広中紀万

②広島県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会

開催日時：令和7年8月10日(日)9時～16時

開催場所：福山市障害者体育センター

内 容：アイマスク有6名、アイマスク無10名による試合を実施

審判員及び助手：8名

参加人数：県内24名

③第71回全国視覚障害者青年研修大会

開催日時：令和 7 年 9 月 1 4 日（日）～ 1 5 日（月）

開催場所：愛知県豊橋市

出席者：細谷成二

④ 県視連第 2 回評議員会

開催日時：令和 7 年 1 2 月 2 1 日（日）1 3 時～ 1 5 時

場 所：広島県立視覚障害者情報センター

出席者：細谷成二、広中紀万

⑤ 県視連第 3 回評議員会

開催日時：令和 8 年 3 月 2 2 日（日）1 3 時～ 1 5 時

場 所：広島県立視覚障害者情報センター

出席者：細谷成二、広中紀万

（4）カラオケ・オセロ大会

開催日時：令和 7 年 7 月 2 0 日（日）

開催場所：三原市サン・シー・プラザ

参加者等：福山市、府中市、尾道市、三原市、
呉市から応援含めて 7 3 名　うち、カラオケ 1 4
名、オセロ 6 名

（5）あはき部会事業

日 時：令和 8 年 2 月 2 2 日（日）

会 場：福山市すこやかセンター

講 師：広島市 清流堂治療院 院長 清田郁也氏

演 題：日常よく遭遇する高齢者の病態：

参加者：2 0 名（福山、尾道、府中）

5 その他の事業

（1）R C C ラジオチャリティミュージックソンによる音響信号機寄贈

当会からの推薦に基づき、福山市南小学校前交差点および
東広島市下見中央交差点へ設置され、1 0 月 1 5 日東広島市

において渡り初め式が行われた。

(2) あはき師免許保有証の交付

当会からの申請に基づき、日視連によるあはき師免許保有証について、更新者 5 名に保有証を交付した。

(3) 広島県立視覚障害者情報センター指定管理更新

第 6 期目となる令和 8 年度以降の指定管理者の更新について、令和 7 年 9 月に申請を行い、11 月の選定委員会ヒアリングを経て、12 月県議会において承認された。

(4) 身体障害者の更生相談に応じる事業

障害者手帳を取得して間もない方の相談の場としての「来んさいサロンゆるる」を隔月開催したほか、随時、視覚障害者の生活や就業等に関する電話相談に応じた。

(5) 身体障害者生活訓練事業

県立情報センターを利用する視覚障害者の生活スキルの向上や健康づくりを進めるため、同センターが実施する「IT サロン」、「パン教室」、「発酵教室」及び「太極拳 & 健康体操」を支援した。

愛命園

2 令和7年度事業報告

②令和7年度愛命園事業報告書

I. 事業について

1 施設の現状

1. 実施事業

障害者支援施設「愛命園」（生活介護・施設入所支援）・障害福祉サービス事業「愛命園ショートステイ」・相談支援事業「障害者相談支援事業所愛命園」・日中一時支援事業「愛命園日中一時支援事業所」の四つの事業を行った。

各事業の詳細については、別紙のとおり。

2. 施設、設備備品の整備

・ナースコール設備改修工事一式

5, 500, 000円

・高圧設備接地抵抗改善工事

990, 000円

・エアコン更新（304）

473, 000円

・エアコン更新（寮母室・201）

489, 500円

・エアコン更新（ショート1）

473, 000円

（寄贈）

・タントスローバー（福祉車両）

1, 746, 180円

一般社団法人中国地方郵便局長協会様より

・応接セット（机3客・椅子12客）

2, 179, 100円
マルニ木エクラウドファンディングにより

3. 地域貢献について

- (1) 地元町内会行事へ継続参加（総会・町内美化活動等）する。
- (2) 広島福祉専門学校の指定実習施設となっているため、引続き実習生を受け入れる。
- (3) 湯来南高校から引き続き介護講師の依頼を受け、生活支援員1名を派遣する。
- (4) 『日中一時支援事業』で、地域のニーズに対応する。
- (5) 地域小学校の福祉体験学習の協力（アイマスク体験、障害者への理解に関するおはなしなど）する。
- (6) 引き続き玄関に「こども110番の家」と「地域で守るいじめ虐待110番」のステッカーを貼り、運動に協力する。
- (7) 玄関にAEDを設置し、園の利用者のみならず行事で来園される方や、近隣の田んぼや畑で農作業される方の不測の事態に備える。

4. 行事

行事計画に沿いコロナ対策をしながら実施

- (1) 花見は4月3日（木）に実施
法人より橘高会長・金岡事務局長・元園長林 弘子さんの出席があり、食堂とれんが通りで七分咲きの桜の木の下で、天気にも恵まれ、カラオケをフルコーラス歌い楽しんだ。
- (2) 開園52周年記念式典は、6月2日（月）
橘高会長・金岡事務局長・元園長林 弘子さん・畑後家族会会長に出席頂き執り行った。
- (3) グループ外出は、5月8日から7月10日まで2か月

- に渡り、カープ観戦や買い物、
ビュッフェ等希望する場所でそれぞれが楽しんだ。
- (4) 湯来小中学校合同運動会に招待され、
5月17日(土)希望される利用者と参加した。
- (5) 親善球技大会5月25日(日)天候悪くゲート通し、
フライングディスクを屋内競技に6名参加した。
- (6) 施設コンサート友近890(やっくん)をお呼びし「笑顔元気届けたい」と懐かしメドレーやオリジナル曲など披露していただき楽しいひと時を過ごした。
- (7) 夏まつり8月2日(土)アトラクションとして「まさやん」さんをお呼びしてライブ後ご家族、来客の方と盆踊りを踊り楽しんだ。
- (8) 「腹話術とキーボード演奏で楽しもう」愛命園バージョンで利用者は楽しめました
- (9) ご長寿お祝い会9月2日(火)賀寿は、1名古稀・1名喜寿・1名傘寿の方が該当(合計3名)となり手作りちゃんちゃんこを着て写真撮影、ゲーム等実施した。
- (10) 旅行は、9月11日から11月6日まで島根と広島の一泊旅行・ペットカフェやビュッフェバイキングなど日帰り旅行を楽しんだ。
- (11) 9月14日(日)町内の敬老会に4名が参加した。
元職員もおられ和やかな雰囲気でご過ごされた。
- (11) 10月18日(土)湯来小中学校合同文化祭招待され4名希望される利用者参加された。
- (12) 園まつり当日は天気もよく近隣の方・ご家族・ボランティアの方等沢山のお客さんで賑わった。
- (13) 湯来東小学校との交流
児童の演奏・合唱を聞いたり一緒にリズム体操など行ったり笑顔に包まれた。
- (14) クリスマス会12月25日(木)に元職員に声をかけ3名ほど参加して頂いた。

(15) 令和8年元旦よりコロナウイルス感染症クラスターとなった。(利用者11名・職員4名罹患)

(16) 節分豆まきは2月3日(火)

イワシを玄関で焼きその匂いで鬼は退散、柊の葉にイワシの頭を刺し玄関に飾った。利用者代表の年女・年男に玄関先で『コロナ鬼は外、インフル鬼は外、福は内』と豆まきを行った。

(17) 活動係慰労会を行った。年度の締めくくりで日頃の労をねぎらう。お弁当を取りお酒で一杯。来年度の抱負を各自話した。

(18) 利用者の帰省期間は次の通り

GW帰省 4月27日(日)～5月6日(火)

夏帰省 8月10(日)～8月17日(日)。冬帰省 12月25日(木)～1月5日(月)

(19) コーラスクラブ・音楽療法の活動

今年度は、コーラスクラブ13回の活動、
音楽療法は、月3回で年間36回の活動。

(20) 訪問ボランティア

- ・朗読奉仕 どんぐり会が年9回朗読奉仕となった。
- ・近隣の元民生委員の自称「あんみつ姫」が今年度は、年間7回紙芝居に来て下さった。

5. 職員の研修

(1) 各月にわたり内部研修会を行う。全5回実施。

(2) 県社協や関連団体から案内のある外部研修には、関連のある職員が対面・オンラインで参加し、職員会議で伝達講習を行って他の職員に周知するよう努めた。

6. 災害対策

愛命園危機管理マニュアルに従って年4回の避難訓練

を実施するとともに、水害を想定して、避難棟への訓練を1回実施した。

7. 虐待防止

平成27年7月1日改正した愛命園利用者虐待防止マニュアルに基づき園内2ヶ所に設置した「目安箱」の継続。
年2回のセルフチェック実施。
年1回の職員研修会を実施。
身体拘束の見直し検討会年2回行った。

2 利用者への支援について

1. 支援に対する基本姿勢

従来の基本姿勢を踏襲（個別支援の強化）
（ア）利用者の高齢化に伴う障害の重度・多様化に即した介護面での対応
（イ）健康管理（医療・食事）への最大限の留意

2. 支援内容

（ア）日常生活支援

- ①住環境に意を用い、利用者の人間関係へのきめ細かな配慮
- ②基本的な日常生活動作の支援
- ③集団生活を営む上で必要な支援
- ④生活を豊かにすることを目的にした余暇活動に対する支援
- ⑤健康の維持増進のための支援

（イ）個別活動

生活の質の向上を図る事を目的とした個別支援の充実、
利用者の教養、趣味、体力等の向上を図るとともに趣味・
特技を生かしたクラブ活動等実施

・デイルームで、毎月の誕生者を担当からのメッセージと

ケーキでお祝いした。

- ・挽きたてコーヒーは自分で豆を挽いてもらい、コーヒーの香りや本格的な味を楽しんでもらった。

(ウ) 生活班活動

情緒の安定と身体機能の維持増進を図り、施設内での円滑な生活ができることを目的として音楽療法を取り入れたリトミック体操、作業療法、器楽合奏を中心とした活動を実施した。

(エ) 創作活動

創作活動に意欲のある利用者に対して、次のような目的で創作活動を行った。創作活動は、貝通しと飾り蓋の袋詰め、ペーパーたたみである。

- ・身体機能の維持増進を図るとともに巧緻性を養った。
- ・創作活動をとおして生産することの喜びと勤労の大切さ身をもって体験した。
- ・創作活動に参加するための動機づけや作業場の雰囲気作りに配慮した。
- ・活動することで施設での生活にメリハリをつけた。
- ・創作活動が一般の社会生活に果たしている役割を理解することにより創作に対する意欲の向上を図った。

(オ) 学習・体育・レクリエーション

歩行訓練・散歩・機能訓練・買い物・クラブ活動（コーラス）・音楽療法（29年度より音楽療法士2名リトミック1名）・地域ボランティアによる紙芝居・朗読奉仕・ラジオ体操・全体歩行など行った。

(カ) 個別支援計画の充実

- ・還暦や古希・喜寿など人生の節目をお祝いするなど、ごく一般的に世間で行われている慣わしを実施して利用者の生きている喜びをより高める配慮をした。
- ・高齢化や身体状況の変化にきめ細やかに対応するため、個別的ケアに重点をおき、心身の穏やかで安定した生活

をめざした。

- ・日常生活での個々の利用者の役割、存在意義を大切にし、ひきこもりの解消や、体力・機能の維持に努めた。

(キ) 健康管理

- ①健康管理マニュアルに従って、生活習慣病予防に対する意識の向上に努めた。
- ②定期健康診断で血液検査（全身状態・肝機能・血糖・脂質・腎機能・貧血・腫瘍マーカー等）、検尿、検便（腸内細菌・便潜血検査は年２回実施）、胸部レントゲン撮影を実施し、個々の健康状態の把握と疾病の早期発見に努めた。
- ③被爆検診の対象者２名の検診に付添った。
- ④高齢化した利用者に配慮した食事を提供し、健康状態に応じて個々の利用者に必要な栄養・運動・休息バランスがとれる様に健康管理に努めた。
- ⑤利用者の突発的な健康状態の変化や、終末期ケアを提供するためのオンコールシステムを継続し、利用者の緊急対応に努めた。
- ⑥歯磨きタイムを継続し口腔衛生に努め、歯の清潔管理の大切さの意識の向上に努めた。
- ⑦外出・外泊からの帰園時や食事前、排泄後に手洗いと手指消毒を実施することで、感染予防に努めた。
- ⑧毎朝の体温測定等を継続実施し、利用者の体調の把握に努めた。
- ⑨本人または家族の同意を得た利用者に対し、インフルエンザワクチンも１１月に接種した。
- ⑩ノロウイルス・ロタウイルスの施設内感染を予防するための利用者の健康状態の観察と、排泄物の処理の徹底をマニュアルに従い実施することで、ノロウイルス・ロタウイルス陽性者の発生はなかった。
- ⑪慢性疾患を有する利用者に対しては、嘱託医と連携を取りながら、必要な精密検査や他科受診をして早期治療に努め

た。

- ⑫ 体重・血圧測定を毎月継続実施し、疾病の早期発見に努めた。
- ⑬ 歯科年1回、利用者健康チェックを行いながら、協力医療機関で通院を行い利用者の健康状態の把握に努めた。
- ⑭ 治療食が必要な利用者（6名）に対して、糖尿病食の提供を行った。
- ⑮ コロナ感染症対策として、利用者の方へマスク着用をお願い・職員と利用者での時間差の食事・職員定期的な感染症対策会議を開催で対応した。

（ク）作業療法

引き続き作業療法士による機能訓練および専門的見地から生活援助の助言を受け、支援体制の充実を図った。

3. 利用者と職員の異動状況

（1）利用者

①退所

- ・令和7年4月10日付退所 世羅町出身
男性 75歳 療養型病院へ（19年9ヶ月在籍）
- ・令和7年4月10日付退所 広島市安佐南区出身 男性
77歳 逝去（23年在籍）
- ・令和8年1月16日付退所 北広島町出身 男性 50歳
療養型病院へ（1年5ヶ月在籍）

②入所

- ・令和7年4月14日付入所 安芸郡府中町出身 男性 55歳
- ・令和7年4月21日付入所 北広島町出身 男性 56歳
- ・令和7年5月3日付入所 安芸郡海田町出身 女性 60歳
- ・令和7年8月19日付入所 江田島市出身

男性 46歳

・令和7年11月1日付入所 広島市佐伯区

男性 36歳

(2) 職員

①入職

(非常勤生活支援員) 廣中 健太

令和8年2月16日付

Ⅱ. 職員の状況

1. 職員の配置

(令和8年3月31日現在)

	常勤	非常勤	計
園長(兼サービス管理責任者)	1		1
事務長	1		1
事務次長	1		1
支援課長(兼サービス管理責任者)	1		1
支援課課長補佐	1		1
生活支援員	20	18	38
管理栄養士	1		1
看護師	3		3
事務員	1	1	2
作業療法士	1		1
相談支援専門員	2		2
嘱託医		2	2

産業医		1	1
計	33名	22名	55名

2. 職員の健康管理

職員数が50名を超えたことにより22年度に策定した衛生管理規程に基づき、衛生委員会活動を実施、労災等の防止に努めた。

夜勤従事職員は年2回、一般職員は年齢による付加健診を含む年1回の健診を受けた。要精密検査を指摘された職員には、必ず受けるように奨励した。

健診の結果表に基づき、月1回の産業医相談日に指導・助言を受けた。その際、衛生委員会会議録に目を通していただいた。

27年12月より制定された職員のストレスチェックを実施し、結果を産業医及び労働基準監督署に報告した。

3. 職員の表彰

令和7年11月14日

広島県社会福協議会会長表彰 沖田 美穂

〈永年勤続表彰〉

勤続40年表彰 前 和枝 (法人)

沖田 幸久

勤続20年表彰 伊藤 章 (法人)

松永 千和

勤続10年表彰 迫田 大 (愛命園)

南原 裕美子

藤本 マヤ

愛命園開園52周年式典にて(家族会からは感謝状授

与)

Ⅲ. その他

- ・カーブスより今年も山のような食品をいただいた

園では、カーブスメニューを献立に取り入れ、その都度利用者に紹介し、感謝しながらいただき、料理の写真はお礼状に添え、協力されたカーブス各店に送った。

令和7年度広島県立視覚障害者情報センター事業報告書

1. 情報提供事業

(1)開館日数 268 日

(2) 利用者の状況

利用登録者数(令和8年3月31日現在)

登録者数	1,471人(前年度より21人増)
新規登録者数	34人
除籍者数	13人

(3) 図書受入数

種 別	区 分	受入数
点字図書 (厚労省委託、自館製作等)	タイトル数	41
	巻数	106
テープ図書 (除籍)	タイトル数	-2
	巻数	-9
デージー図書 (自館製作、複本、除籍)	タイトル数	-173
	巻数	-176
一般CD (寄贈)	タイトル数	0
	巻数	0
テキストデージー図書 (自館製作)	タイトル数	25
	巻数	25
マルチメディアデージー図書 (自館製作)	タイトル数	1
	巻数	1
シネマデージー図書 (複製、除籍)	タイトル数	16
	巻数	16

(4) 定期刊行物製作数

【点字雑誌】

雑誌名	頻度	種 類	年回数
ひろてんナビ	月刊	点字	12

【録音・テキストデイジー雑誌】

雑誌名	頻度	種 類	年回数
KURE: BAN	月刊	デイジー	12
週刊文春	週刊	デイジー	4(担当制)
すこやかファミリー	月刊	デイジー	12
大乘	月刊	デイジー	12
カープマガジン	季刊	デイジー	4
ひろてんナビ	月刊	デイジー	12
本の雑誌	月刊	デイジー	12
週刊文春WOMAN	季刊	デイジー	4
昭和 40 年男	隔月刊	テキストデイジー	6

(5) サピエ図書館へのコンテンツ(データ)提供数

種 別	提供数
点字データ	44
音声デイジーデータ	107
テキストデイジーデータ	66
マルチメディアデイジーデータ	3
計	220

(6) 図書貸出数

個人貸出

ア. センター所蔵図書

種 別	区 分	貸出数
点字	タイトル数	212
	巻数	669
デイジー	タイトル数	5,386
	巻数	5,414
一般CD	タイトル数	19
	巻数	19

カセット	タイトル数	117
	巻数	719
合 計	タイトル数	5,734
	巻数	6,821

イ. 団体借入図書

種 別	区 分	貸出数
点 字	タイトル数	109
	巻数	389
デイジー	タイトル数	6,204
	巻数	6,205
一 般CD	タイトル数	394
	巻数	412
カセット	タイトル数	69
	巻数	394
合 計	タイトル数	6,776
	巻数	7,400

ウ. 団体貸出図書

種 別	区 分	貸出数
点 字	タイトル数	70
	巻数	282
デイジー	タイトル数	506
	巻数	506
一 般CD	タイトル数	0
	巻数	0
カセット	タイトル数	44
	巻数	215
合 計	タイトル数	620

	巻数	1,003
--	----	-------

(7) 定期刊行物(雑誌)貸出数

種別	貸出数
点字雑誌	19
デイジー雑誌	8,591
一般CD	38
録音雑誌(カセット)	102
計	8,750

(8) プライベートサービス

	件数	実績数	備考
点訳	1	2ページ	2枚 プリントアウト枚数
点字印刷	6	1,883	1,102枚 (プリントアウト枚 数)
音訳 デイジ ー	4	11h0m	28部
音訳 一般C D	1	31m	1部
音訳 カセッ	1	31m	1部

ト			
テキスト化	2	600 ページ	—
コピー カセ ット	1	4 h 14 m	1 部
点字シール	1	1 ページ	1 枚 (タックペーパー枚 数)
対面音訳	18	70 h	—

(9)レファレンスサービス

	点字図書	録音図書	その他	件数合計
計	112	1, 719	103	1, 934

(10)視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」利用状況

ア「サピエ図書館」オンラインリクエスト受信件数

種 別	回 数
【点字】	66 回
【デージー】	492 回
【カセットテープ】	34 回
【一般 CD】	0 回
総 計	592 回

イ「サピエ図書館」利用状況 再生・ダウンロード件数

種 別	区 分	件 数
点 字 データ	タイトル数	182
	延べ利用者数	580
音 声 デイジー	タイトル数	917
	延べ利用者数	21,120
テキストデイジー・ マルチメディアデイジー	タイトル数	215
	延べ利用者数	2,631
合 計	タイトル数	1,314
	延べ利用者数	24,331

(11) 委託事業

①「ひろしま県民だより」(年 4 回発行)

発行	点 字	デイジー	カセット	計
4/1, 7/1, 10/1, 1/3	1,085	452	108	1,645

②「広島県議会だより」(年 4 回発行)

発行	点 字	デイジー	カセット	計
4/13, 7/27, 10/26, 1/25	983	366	98	1,447

③選挙公報・名簿製作

点字による選挙のお知らせや点字候補者名簿を作成した。

摘 要	点 字	デイジー	カセット	計
参議院議員通常選挙 「点字による選挙のお知らせ」	170 部 340 枚			170 部 340 枚
衆議院議員通常選挙 「点字による選挙のお知らせ」	180 部 360 枚			180 部 360 枚

広島県知事選挙「点字による選挙のお知らせ」	150 部 150 枚			150 部 150 枚
広島県議会議員広島市安佐北区選挙区補欠選挙「選挙のお知らせ」	20 部 20 枚			20 部 20 枚
呉市長選挙 「点字候補者名簿」	130 部 130 枚			130 部 130 枚

2. ボランティア養成事業

(1) 実働ボランティア数（令和8年3月31日現在）

ボランティア種別	人 数
点 訳	15
音 訳	30
テキストデイジー	9
館内作業	2
計	56

(2) 県委託講座

講座名	開催日	参加者数
点訳奉仕員養成講座	令和7年11月12日～ 令和8年3月4日(14回)	3
音訳奉仕員養成講座	令和7年11月12日～ 令和8年3月4日(14回)	5

(3) 主催講座

講座名	会場	実施回数
点訳部研修会	センター	10
専門点訳勉強会	センター	10
点字雑誌製作勉強会	センター	10
点訳ボランティアグループ勉強会	センター	0
点訳ボランティアスキルアップ勉強会	センター	23

音訳部研修会	センター	8
録音雑誌製作勉強会	センター	0
音訳ボランティアスキルアップ勉強会	センター	4
音訳指導員勉強会	センター	0
拡大字製作勉強会	センター	0
テキストデイジー製作勉強会	センター	12
計		77

3. 普及啓発事業

(1) センターだよりの発行(年6回)

行事,生活情報,最新IT情報,センターからのお知らせ,休館日,新刊図書情報等を収録。(発行月 5, 7, 9, 11, 1, 3)

種別	点字	デイジー	カセット	拡大字	普通字	合計
部数	884	1,213	276	1,370	109	3,852

(2) 利用者・ボランティア・職員合同研修会(交流会)

開催日:12月12日(金) 行先:岡山県備前市、岡山市

参加者:37名

(利用者17名、付添11名、ボランティア4名、職員5名)

(3) 来館利用を促すイベントの実施

①「ピラティスレッスン」

利用者の健康維持・増進,利用者同士の交流を目的として,ピラティスレッスンを行った。密を回避するため,レッスン参加は利用者に限定している。

開催日:毎月1回 計12回 延べ参加者 104名

講師:ワンズフィットネス 榎木和波先生

②「レッツエンジョイ!フラダンス」

利用者の健康維持・増進,利用者同士の交流を目的として,フラダンス教室を開催した。

開催日:毎月1回 計10回 延べ参加者 41名

講師：フラダンスインストラクター 山肩由美子先生

※8、9月は開催1回。

③「太極拳 & 健康体操」

気軽に参加できる運動教室として、太極拳 & 健康体操教室を開催した。

開催日：4月24日 参加者 2名

講師：松田峯子先生

④「来んさいサロンゆるる」

障害者手帳を取得して間もない方の「相談・情報交換の場」の提供として、サロンを開催した。

開催日：5, 9, 11, 1, 3月 計6回 延べ参加者 61名

講師：歩行訓練士 高橋一夫先生

※7月は開催なし。

⑤「パン教室 プチ・リ・ブロン」

初心者・経験者どちらも楽しめるパンレッスンを開催した。

開催日：毎月1～2回 計21回 延べ参加者 114名

講師：プチ・リ・ブロン 大津小百合先生

⑥「発酵教室」

料理の中でも発酵食品に焦点を当て、発酵教室を開催した。

開催日：毎月1回 計12回

延べ参加者 110名

講師：山田明子先生

⑦「フラワーアレンジメント」

季節の花を自分で飾って楽しむフラワーアレンジメント教室を開催した。

開催日：4, 6, 8, 10, 12, 2月 計6回 延べ参加者 133名

講師：関川章子先生

⑧「はりねずみ合奏団」

好きな楽器の演奏を楽しむ、合奏レッスンを実施した。

開催日：毎月1回 計13回 延べ参加者 227名

講師：SOUND TRUST 三浦雄希先生

※11 月はコンサートの練習のため、2 回実施した。

⑨「パンフルート教室」

開催日：毎月 1～2 回 計 22 回 延べ参加者 167 名

講師：日本パンフルート協会 庄ゆかり先生

※11、1 月は開催 1 回。

※4、5 月は初心者向け講習会も実施。

※12 月 6 日（土）一般社団法人日本パンフルート協会主催の
パンフルートコンサートに参加し、演奏を行った。

⑩「パンフルートサロン」

パンフルート教室の発表の場として、外部パンフルート奏者との
ミニコンサートおよび交流サロンを開催した。

開催日：5 月 25 日（日）参加者 43 名

⑪「情報センター＆惣田町内会交流サロンコンサート」

地域の方との交流を目的とし、戸坂惣田町内会とコンサートを
共催した。

開催日：11 月 30 日（日）参加者 128 名

場所：情報センター

出演：

情報センター はりねずみ合奏団、チームバンブス、

惣田町内会 広島ターフェルオーケストラ弦楽アンサンブル

⑫「iPhone 困りごと相談会」

iPhone 操作やアプリについて、インストラクターと 1 対 1 で個別
の困りごとを解消できる相談会を開催した。

開催日：6 月 計 2 回 参加者 14 名

講師：ぼるけーのの会

⑬「遠足くらぶ」

外出の機会や利用者同士の交流の場の提供として、近郊への
バス遠足を実施した。

開催日：11 月 17 日 みかん狩り（能美島）参加者 24 名

（4）学校教育における視覚障害理解等を促進する活動への取組み

特別支援学校生徒や大学生、福祉専門学校生などを対象に施設見学・体験実習を受け入れた。

月 日	種 別	人 数
7/8～ 10	職場体験 広島市立戸坂中学校 3 年生	5
8/6	施設見学 広島県立広島中央特別支援学校 教職員新転任者	15
9/9	施設見学 広島県立広島中央特別支援学校 中学部生徒、教職員	3
10/14	施設見学 広島文教大学教育学部学生	16
10/17	施設見学 星槎国際高校生徒	25

(5) 関係団体・視覚障害者団体等の活動の支援

交流の輪を広め、より多くの視覚障害者の利便に供するため、県内の視覚障害者団体と連携を図った。

4. サービス向上のための取組み

(1) 利用者からの意見・要望の反映

① 利用者への聞き取りの実施

利用登録者を対象に、行事の際、意見・要望の聞き取りを実施した。

② 行事における意見の集約

来所を促す様々な行事を実施することで、参加者からの意見や要望を集約し、次年度の行事計画や図書、福祉に関する情報提供のあり方について職員間で検討を行った。

(2) 情報提供

① ホームページの更新

センターだよりの公開，行事お知らせの掲載などを行った。

② SNS の活用

フェイスブックで情報発信を行った。

(3) センターだよりの配布

県内の関連施設，視覚障害者入所施設，公立図書館などにあてて，年6回発行のセンターだよりを送付した。

令和8年3月現在の送付件数 52か所

(4) 関係機関・団体からの点字・録音資料製作依頼

① 障害者支援施設「愛命園」：愛命園だより「あゆみ」録音版製作

② 広島県教育委員会：教育相談窓口カード 点字版製作

③ 広島市教育委員会：

いじめ問題24時間相談窓口カード 点字版製作

④ 広島市はり・きゅう・マッサージ師会：会員向け資料の点訳

⑤ 広島県鍼灸マッサージ師会：会員向け資料の点訳

⑥ 広島県立広島中央特別支援学校：

教材（国語、数学、理科、社会、英語、家庭） 点訳

数学試験問題、入試問題対策 点訳

⑦ 広島県身体障害者団体連合会：

「広島身障通信」録音版製作

身体障害者相談員協議会資料 点字版製作

身体障害者相談員研修会資料 点字・録音版製作

身体障害者福祉大会資料 点字版・録音版製作

⑧ 広島県立図書館：「声の目録」 点訳校正、点字プリントアウト

⑨ 広島県社会福祉協議会：

広島県介護支援専門員実務研修受講試験 受験上の注意

点字版製作

⑩ 広島市文化財団：演劇引力広島公演チラシ 点字版製作

5. 地域、関係機関との連携体制計画の実施状況

(1) 全国視覚障害者情報提供施設との連携

- ①全国視覚障害者情報提供施設協会が運営する視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の運用に、蔵書目録の提供やコンテンツ提供の面で協力した。
- ②サピエ図書館及び国立国会図書館全国総合目録を通じて、全国の視覚障害者情報提供施設との資料の相互貸借を活用した。

(2) 県内公立図書館との連携

- ①県立図書館及び希望する市町立図書館にあてて、年6回のセンターだよりを送付し、相互理解に努めた。
- ②当センター所蔵の点字・録音資料を、希望に応じて県内の市町立図書館に貸出しを行った。
- ③広島県立図書館の障害者サービス体験会において、点字体験コーナーを開催した。

実施日：11月3日

- ④広島県立図書館「声の目録」点字版作成業務に協力を行った。

(3) 支援学校との連携

- ①点訳ボランティアと連携し、支援学校で使用する学習教材の点訳に積極的に協力した。
- ②読書活動のための蔵書製作に協力した。

(4) 眼科・医療機関との連携

広島県眼科医会や広島県・市の視覚障害者関係施設・団体で開設されたスマートサイト「もみじサイト」において、医療と福祉双方での連携を強め、中途視覚障害当事者とその家族の方々が、いち早く必要なサービスを利用できるよう相談受付窓口としてリードした。

(5) 視覚障害者団体等との連携

①広島県内の視覚障害者団体主催の行事情報などをセンターだ
よりに掲載し、広報に協力した。

②広島市視覚障害者福祉協会「広島市視覚障害者情報センター
まつり 2026」に出展し、センターのサービス紹介や、サピエ図書館
について視覚障害者の相談に応じた。

実施日：2月8日

場所：広島市総合福祉センター（ビッグフロントひろしま）

③呉市視覚障害者協会の要望を受け、移動点字図書館を実施し
た。

実施日：5月14日 場所：呉市椿開館 参加者：16名

内容：プレクストークやリンクポケット等読書機器操作の説明

④広島県網膜色素変性症協会（JRPS 広島）

施設見学を受け入れた。

実施日：7月15日 参加者：4名

(6) 地域のボランティアとの連携

地域の音訳講習会に音訳指導員の派遣を行った。

実施日：10月 計5回

派遣先：広島市安佐南区社会福祉協議会

講習会：音訳ボランティア入門講座

(7) 広島大学アクセシビリティセンターとの連携

教育のユニバーサルデザイン化推進ネットワーク UE-Net に参画し
た。

(8) その他関係機関との連携

広島県障害者支援課の条例制定イベント「障害者コミュニケーションフェス」のパネル展に出展し、点字体験会を実施した。

実施日：12月23日

場所：シャレオ中央地下広場

6. 視覚障害施設職員としての専門的資質の向上

①職員が受講した研修・講座

	研修・講座名	期日	場所	人数
1	サピエ研修会 (オンライン)	7/3～4	センター	4
2	第46回中国四国点字図書館館長会議、職員・ボランティア研修会	8/25～26	岡山市	6
3	第50回全国視覚障害者情報提供施設協会	10/23～24	大阪府堺市	3
4	令和8年度同行援護従業者養成研修 基礎課程	1/18, 24, 25, 31	広島市	1
5	令和8年度同行援護従業者養成研修 応用課程	3/1	広島市	1

②職員自主研修会

	研修内容	月	会場	人数
1	令和6年度貸出数の分析	4	センター	5
2	蔵書の充実方法について	5	センター	4
3	電話応対について	6	センター	4
4	サピエ研修会の情報共有	7	センター	4

5	中国四国点字図書館職員研修会の情報共有	7	センター	6
6	令和8年度中国四国点字図書館職員研修会内容の検討	8	センター	6
7	R7年度後半行事について	9	センター	5
8	全視情協大会の情報共有	10	センター	5
9	SDカード貸出数の上限の検討	11	センター	4
10	貸出作業の効率化、書庫の整理について	12	センター	4
11	利用者満足度調査について	1	センター	5
12	中央特別支援学校図書室見学	1	中央特別支援学校	7
13	同行援護従業者研修の情報共有	2	センター	4
14	令和8年度行事について	3	センター	5

2025年度（令和7年度）
福山市視覚障害者地域活動支援センター事業報告

1 情報提供事業

（1）諸機関等からの情報を、墨字・音声・点字・メールで提供する。

- ・各諸機関から提供される書籍等の貸出情報
- ・福山市からのお知らせ

(点字ブロックの仮移設を伴う占用工事について等)

ほか

(2) 「ホームページ」「Facebook」による情報発信
ホームページや Facebook を通じて、支援センターの活動等を紹介する。

＜評価と課題＞

読みやすい案内文の作成と発信頻度、音声デジ版では他の人の返却待ちということがなるべくないように、細かく注意しながら情報提供をした。それらを継続すると共に、SNSを活用した発信もしていきたい。

2 ボランティア養成事業

(1) 広報「ふくやま」全文読み音訳ボランティアスキルアップ勉強会

実施日 4月9日(水)から3月11日(水) (全8回)
参加者 平均8人(延べ64人)
内 容 広報等デジ版のデジタル録音と編集の学習
指導者 中島タマイ、藤井郁子(音訳指導員)
音訳ボランティアグループクイーンズ' B 会員

＜評価と課題＞

各号の読み方を中心に学習をした。特に写真の多い特集などは、実際に音声を聞きながら記事の組み立てを考えた。原稿にないものと言わないという基本にかえり読み方を統一した。

また、パソコンを使用しての校正は慣れるまで難しい部分もあるが、校正を経験することで少しずつその技術も向上している。次年度も引き続き、勉強会を開催し利用者の皆さんにより良い音声を届けたい。

(2) 音訳ボランティア養成講習会

実施日 1月15日(木)・2月5日(木)
2月12日(木)・3月5日(木)
3月12日(木)
参加者 7人(延べ42人)
内 容 音訳の基礎、音声化・処理・調査技術・録音ほか
講 師 藤井郁子(音訳指導員)
音訳ボランティアグループクイーンズ' B 会員

評価と課題

参加者のほとんどが音訳を知らなかった人ばかりだった

が毎回熱心に受講され、講習修了後は先輩ボランティアと録音、編集のグループ学習をした後に広報の音訳デビューを目指す。

(3) パソコン点訳ボランティアスキルアップ研修会

実施日 7月3日(木)・10日(木)・8月7日(木)

(全3回)

参加者 13人(延べ36人)

内 容 「点訳のてびき」第4版を基に演習を行い、スキルアップを目指す

講 師 比奈 陽子(点訳指導員)

評価と課題

昨年度ボランティアに加入した2名に加え、これまで活躍してきたメンバーも参加した。

広報「ふくやま」7月号の振り返りでは、見出しのマス空けなど注意点の指導があった。

参加者からは、初心に帰ることができた、間違いやすいポイントが分かったなどの声が上がった。

今後もボランティアのスキルアップのため、定期的の実施していきたい。

(4) 音声パソコンボランティアスキルアップ研修会

実施日 9月30日(火)

参加者 8人(職員含む)

内 容 ボランティア講師による講演と演習会

講 師 鞆綱 久美子

評価と課題

予め音声パソコンに関する質問を提出し、その質問について解説を受けた。音声パソコン以外にも、利用者への接し方や注意点など、経験を基にしたお話を聞くことができた。

また、それぞれの地域に於ける新規のボランティア獲得について、情報交換をすることもできた。

3 相談・生活支援事業

(1) 相談事業

① 定期障がい者相談会

期 間 4月1日から3月31日まで 毎週水曜日

相談員 福山市障がい者相談員 7人

定期相談日の相談件数 85件

相談件数（平日含む） 316件

評価と課題

今期の相談件数は例年並みの実績で推移したが、来期は女性相談員が不在となる。幅広い要望に柔軟に応えるためには、女性の視点を持つ相談員の存在が重要であると考えられるため、今後は女性相談員の確保に向けた対策が必要である。

② 情報交換サロン

1. 防災講演会と非常食試食会

実施日 9月24日（水）

参加者 12人

内 容 南海トラフ地震に備えて、災害時要支援者の避難行動と避難所の安心安全対策について学ぶ非常食試食会

講 師 福山市出前講座 危機管理防災課 藤岡氏

評価と課題

今回の講演会は、市役所の職員を講師としてお招きし、福山市における防災の備えについて、具体的なお話を聞くことができた。

講演後には参加者から多岐にわたる質問が寄せられ、本テーマへの関心の高さが窺えた。

2. 副音声付映画観賞会

実施日 10月1日（水）

参加者 13人

内 容 上映作品 「光」

評価と課題

今回は、「副音声」をテーマとした内容の映画を上映した。参加者は、共感できる部分が多かった様で、上映後の交流会では話が盛り上がる場面があった。

一方で、急激な場面展開が何か所かあり、音声と副音声の情報のみでは物語の流れを掴みきれなかった

という意見も寄せられた。今後も、上映作品については参加者の要望をできるだけ取り入れながら、継続して実施していく予定である。

③相談員研修会

実施日 4月23日(水)

内 容 相談員として相談を受けた時の対応について

参加者 相談員他、所長、職員 計9名

講 師 福山市生活困窮者自立支援センター
所長 鳥海 洋治氏

評価と課題

生活困窮者自立支援センターの在り方をはじめ、相談内容、相談への対応並びにその結果について、実例を基にした講演が行われた。終了後の意見交換会では積極的な意見交換の場面があり、参加者のスキルアップへの意欲を感じることができた。

(2) 生活支援・自立訓練事業

①視覚障がい者白杖歩行訓練

実施日 4月1日から3月31日 個別対応

講 師 花木 瑞美

(島根あさひ訓練センター 生活訓練指導員)

内 容 受講者宅の周辺を中心にしながらニーズに応じた歩行訓練

受講者 10人(延べ31人)

評価と課題

白杖選びから単独歩行まで、それぞれのニーズに合わせた訓練を実施し、習熟を図った。

行動の不自由を克服し単独移動を確保するために、今後も継続して実施していく予定である。

②音声パソコン教室

実施日 4月4日(金)から3月13日(金)(全31回)

講 師 水本 裕子

サポート パソコンサポートボランティアすずらん

受講者 14人(延べ201人)

ボランティア 6人(延べ128人)

評価と課題

昨年度と同様、第1週および第2週はテーマに沿って学習を進めた。第3週は個別相談の時間を設け、音声パソコンに関する困りごとの解決やスキルアップを図った。
次年度は、状況を見ながら柔軟に学習計画を立て、教室を継続していく予定である。

③点字触読教室

実施日 4月1日(火)から3月17日(火)(全31回)

講師 加藤 尚志

サポート 点字触読サポートボランティアさくらんぼ

受講者 9人(延べ201人)

ボランティア 6人(延べ143人)

評価と課題

今年度の教室も例年通り「青鉛筆」の触読と歌唱から始まり、その後、個人のレベルに合わせた教材で学習を進めた。

来期に向けては、既存の参加者の更なる成長を促すとともに、新たな参加者の募集にも力を入れ、ボランティアの減少という課題に対応しながら、教室の持続的な発展と活性化に努めていく。

④男性と初心者の料理教室

実施日 5月19日(月)、9月25日(木)(全2回)

ところ 福山市西交流館

講師 河田 志保(管理栄養士)

アシスタント 藤井 聖美(予防医学食養生士)

参加者 延べ18人

評価と課題

第1回は、利用者から要望があったメンチカツをメインに、第2回は「骨が元気になるごはん」をテーマにカルシウムたっぷりの献立で実施した。

特に、メンチカツをメインにした回は好評であった。

次年度以降も、参加者の要望に耳を傾けながら継続して実施する予定である。

4 交流事業

(1) スポーツ活動

①ウォーキング

実施日 4月13日(日)

行き先 尾道市

参加者 20人(付添い含む)

評価と課題

参加者からは、尾道なら千光寺に行きたかった、尾道ラーメンを初めて食べた、電車に乗れたなど、様々な意見をいただいた。ガイドさんの声が小さく案内が聞き取れない部分もあったが、それぞれの同伴者が周囲の様子を伝えることができていたように思われた。

当事業については、今後も継続して実施する予定である。

②サウンドテーブルテニス大会(主催)

実施日 8月10日(日)

内 容 広島県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会

共 催 広島県視覚障害者団体連合会青年部
福山市視覚障害者福祉協会卓球部

参加者 20人(サポーター、審判含む)

評価と課題

今年度も他2団体との共催で開催した。アイマスク着用の部、無しの部ともに、男女混合のトーナメント形式で実施したが、男女間で身体的な格差があり、女性の勝ち上がりが難しいと感じた。

次年度も、健康の増進と参加者同士の交流を目的に実施する予定である。

(2) 文化活動

①クッキング教室

実施日 6月25日(水)、10月22日(水)、
2月25日(水) (全3回)

ところ 福山市西交流館

講師 卯目 道子(地域活動栄養士)

参加者 第1回 8人 第2回 5人 第3回 5人

(延べ 18 人)

評価と課題

第 1 回の「鶏肉と青野菜のカレーマヨ炒め」は、ボリュームがありご飯が進む味付けで大変好評であった。第 2 回のローストチキンは、手軽に調理できる点が喜ばれた一方で、付け合わせの「雪だるまのサラダ」は、デコレーション作業に時間を要した。今後も講師と協議を重ね、参加者に満足してもらえる献立作りを目指していきたい。

②生け花教室

実施日 6 月 11 日（水）、1 月 27 日（火）（全 2 回）
ところ 福山市西交流館
講師 長谷 和子
参加者 第 1 回 4 人 第 2 回 5 人（延べ 9 人）

評価と課題

例年 12 月後半に実施していた「正月花」の教室は、花材価格の高騰を受け、1 月へと開催時期を変更した。参加者からは「正月飾りが終わった時期に、春らしい花を生けることができて嬉しい」と好意的な意見が上がった一方で、「材料費が高くても正月用の花を生けたかった」という声も寄せられた。今後も講師と相談の上、花材価格の動向を注視しながら開催日程を検討していく。

③お抹茶教室

実施日 6 月 11 日（水）、1 月 27 日（火）
（全 2 回）
ところ 福山市西交流館
講師 長谷 和子
参加者 第 1 回 6 人 第 2 回 5 人（延べ 11 人）

評価と課題

長年にわたり生け花・お抹茶教室のご指導をいただいた講師が、今期をもって退任されることとなった。最終回では、講師を慕う参加者から温かい感謝の言葉が贈られ、感動的な締めくくりとなった。

次年度以降は新たな講師をお迎えし、継続して教室を開催していく予定である。

④ フラワーアレンジメント教室

実施日 6月16日（月）

講師 関川 章子

参加者 10名

評価と課題

クラシック音楽が流れる落ち着いた雰囲気の中、色のバランスや立体感を意識しながら、講師の指導のもと花を挿していった。一輪一輪の解説を聞きながら作業を進めることで、花への知識を深める貴重な機会となった。今後も他事業との兼ね合いを考慮しつつ、継続的に企画していきたいと考えている。

（３）２０２５アイフェスタふくやま（福祉機器展）

実施日 11月9日（日）

ところ 福山市市民参画センター

来場者 195人

評価と課題

展示会場では、自動車メーカーが手掛ける最先端の技術を体験することができた。

また、岡山県視覚障害者センターの柴所長をお招きし実施した落語＆講演会は、多くの来場者の関心を集め会場を沸かせた。

朝から雨天に見舞われたが、来場者数は昨年を上回ることができた。

次年度以降は、会場の確保が難しいことから、同規模での開催を見送り、個々の企画を分散して実施する予定である。

（４）支援センター交流会

実施日 2月7日（土）

参加数 39人

行き先 香川県高松市

評価と課題

例年、ボランティア交流会として実施してきたが、ボランティア参加者の減少に伴い、支援センター交流会として開催した。当日は、香川名物のうどんを

お腹いっぱい味わい、買い物も楽しむなど、充実した時間を過ごすことができた。

今後について、遠方へ出向く際には、不測の事態に備えて事前に緊急連絡先を把握するなど、安全管理を心がけていく。

(5) スポーツ観戦

実施日 5月31日(土)

ところ マツダ ズームズームスタジアム広島

内 容 プロ野球観戦

広島東洋カープ対阪神タイガース戦

参加者 40人

評価と課題

球場到着から試合開始まで十分な時間があったため、多くの参加者が球場グルメを楽しんだ。参加者からは、ゲームの展開が面白くなかった、阪神戦ではない方がよかったなどの意見が寄せられた。他に、外出の機会が少ない中、皆と観戦出来て楽しかったという声もあった。

(6) 音楽イベント

歌って動いてクリスマス会

実施日 12月23日(火)

ところ 福山市西交流館

参加者 20人(サポーター・職員含む)

評価と課題

びんご人材ネットワークより講師の派遣を受けて実施した。

まず、簡単な足裏の体操や発声練習などで体をほぐしてから、合唱へと進んだ。キーボードの伴奏に合わせ、クリスマスソングや参加者に馴染みのある楽曲を歌い、会場は大いに盛り上がった。

その後の茶話会では、参加者全員が順番に近況報告を行い、親睦を深めた。

(7) 各クラブ活動への支援

期 間 4月1日から3月31日

参加者 延べ人数 542人(ボランティアを含む)

評価と課題

前年より実施回数や参加人数は減少したものの、各部とも幅広い活動が見られた。外出や交流の機会を増やすため、支援を継続したい。

5 職員研修等

① 支援センター運営委員会

第1回 5月 7日（水）

第2回 2月 4日（水）

② (社福)広島県視覚障害者団体連合会

令和7年度理事会評議員会

理事会 6月 1日（日）、12月 7日（日）
3月 8日（日）

評議員会 6月22日（日）、12月21日（日）
3月22日（日）

③ 2025アイフェスタふくやま実行委員会

第1回 6月 4日（水）

第2回 9月 3日（水）

第3回 10月10日（金）（書面会議）

第4回 12月 8日（月）

④ 第78回全国視覚障害者福祉大会（千葉大会）

と き 5月25日（日）、5月26日（月）

⑤ 第73回中国ブロック視覚障害者福祉大会 （山口県大会）

と き 9月13日（土）、9月14日（日）

⑥ 第46回中国四国点字図書館館長会議

職員・ボランティア研修会（岡山県岡山市）

と き 8月25日（月）、8月26日（火）

⑦ 第50回全国視覚障害者情報提供施設大会 （大阪堺大会）

と き 10月23日（木）

⑧ 2025年度全国視覚障害者情報提供施設協会
録音委員会 単独研修会（大阪市）

と き 11月6日（木）、11月7日（金）

⑨職員研修 著作権法第37条第3項による資料製作を
行う図書館・点字図書館職員のための著作
権セミナー

と き 12月23日（火）～3月31日（火）
（オンライン）

⑩職員研修 令和7年度企業担当者のための障害者差別
解

消法に関するセミナー

と き 3月16日（月）～3月18日（水）
（オンライン）

⑪就労支援部会

第1回	5月23日（金）
第2回	7月25日（金）
第3回	10月31日（金）
第4回	1月30日（金）

⑫職員研修 令和7年度防災研修会

と き 9月 1日（月）
9月24日（水）

2025年度（令和7年度）
福山市視覚障害者地域活動支援センター受託事業報告

1 広報ふくやま「音訳」「点訳」に係る事業

4月 契約

5月号から翌年4月号まで 12回作成・配布

合計数 音訳版 894枚、点訳版 187部

2 ふくやま市議会だより「音訳」「点訳」に係る事業

4月 契約

3月定例会 5月臨時会・6月定例会

9月定例会 12月定例会 4回作成・配布

合計数 音訳版 292枚、点訳版 59部

評価と課題

毎号期限内に納めている。希望者が年々減少しているが、楽しみに待つ人のために、より質が高く内容が伝わりやすいものを目指したい。

2025年度（令和7年度） 日常生活用具・補装具取扱事業

取扱件数

日常生活用具 15件

補装具 3件

取扱品目

日常生活用具

・プレクストークポータブルレコーダーPTR3

2台

・エンジェルビジョンデスクトップリーダー

5台

・キーホルダー付き音声時計 1台

・音声腕時計 1台

・音声置き時計 1台

・クローバー6 1台

・よみあげ名人 1台

・点字盤 3台

補装具

・白杖（セガワケーン） 2本

・白杖（3

